

令和5年度 特別国体関東ブロック大会 水球競技【戦評】

会場：埼玉県大宮公園水泳場

【2023/8/4】

この試合のプレー集計

A2-3決定

東京都 12

4	—	1
1	—	0
4	—	1
3	—	1

3 栃木県

審判:

木下 晃次
原 汐音

東京都	27	SH数	13	栃木県
	7	速攻数	1	
	24	ST・SB	13	
	8	SH・P誘発アシスト	2	
	73%	GK阻止率	25%	
	2	EX反則数	7	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1P

栃木が徹底した下がりディフェンスで、ゲーム序盤の東京の攻撃を完全にブロック。やや焦った東京が退水シュートをミスし、そこを栃木が突く形で逆に退水を誘発し、そのチャンスを⑧加藤が決めて栃木が先制点をあげる展開(4:51)。栃木のディフェンスにやや手を焼き、センターでのオフフェンス反則などでリズムの乗れない東京だったが、栃木ゴール前のルーズボール処理で栃木側が痛恨のペナルティファウル。そこを東京⑦渡邊が決めて1-1(2:46)。その後は、栃木のゾーンディフェンスにも綻びが出るようになり、次々にセンター②濱口・⑦渡邊にボールが入る展開で完全な東京ペースとなり、東京4-1栃木で第1ピリオド終了。

2P

ピリオドスタートをとった東京が右サイドから⑤南が決めて東京5-1栃木となった後、栃木の下がりディフェンスはかなりの修正が効いたことで、東京になかなか決定的な状況を与えない展開となった。栃木も東京の攻撃ミスについて、退水攻撃などで果敢に攻めるが、効果的なシュートにまで至らず、一進一退の状況となった。このピリオド、東京のシュート数は4本、栃木も2本にとどまり、お互いにチャンスらしい場面もなく、第2ピリオド終了(東京5-1栃木)。

3P

センターボールを栃木が取って、全員攻撃という展開でピリオドがスタートした。その攻撃は手詰まりでオーバータイム。そこを東京が突き、②濱口がミドルを決めて点差を広げた。このパターンが栃木のディフェンスリズムに変調を来し、それまで徹底した下がりが甘くなり、手薄になったタイミングで東京側に攻め込まれる形で退水を喫してしまい、失点が続いた。ピリオド最後、東京のパスミスについて3-2カウンター攻撃に出た栃木、最後は⑦岩田が決めて、東京9-2栃木で第3ピリオド終了。

4P

これまでに点差がついたこともあり、栃木のディフェンスが機能している状態では東京も人数をかけた攻撃(省エネ戦法)。こうなると、栃木側はなかなか東京のディフェンスを突破することができず、逆に攻撃ミスも増えて東京が攻め込む展開となった。栃木もタイムアウトを取って懸命に攻撃。なかなか突破口を見いだせずだったが、残り時間1分を切った段階で④豊嶋が渾身のシュートを決めて3点目を奪って(0:47)、試合終了。

東京12-3栃木という結果で、勝った東京が「代表権」をかけて千葉と対戦することとなった。